



つなぐ手 気仙

学校教育目標

かしこく（本気）

やさしく（優気）

たくましく（元気）

気小の伝統を次代にひきつぐ

3学期、1年間のまとめの時期であると共に、新しい年度の準備をする時期でもあります。様々なことが次の世代に引き継がれました。

児童会新役員立ち会い演説会

2月3日、児童会新役員の立ち会い演説会を行いました。発表した5人は、いずれも自信とやる気に満ちた顔で堂々と話してくれました。それを聞く人たちもしっかりと耳を傾け、真剣に聞き入っていました。質問や励ましの言葉もどんどん出ました。気小のいいところです。新生児童会のこれからの活動に大いに期待しています。

役職	学年	氏名	スローガン
児童会長	5年	K Y さん	自分のよさで笑顔に
副会長	5年	K A さん	きびきびと活気のある学校
副会長	4年	Y S さん	全校が明るくふんいきが楽しい高田一の学校
執行部員	4年	K M さん	笑顔がたえないけんかのない学校
執行部員	3年	K H さん	みんなが気配り・目配り・心配りできる学校



新専門委員会

2月7日には、3年生も含めた新しいメンバーでの専門委員会が行われました。

そこで、新しい委員長も選任されました。各専門委員会のさらなる活動に期待です。

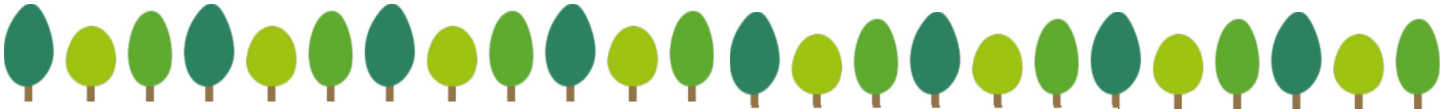
情報委員長	5年	S T さん
図書委員長	5年	K T さん
生活委員長	5年	M H さん



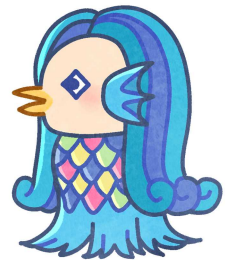
けんか七夕太鼓引継式



2月9日には、郷土芸能「けんか七夕太鼓」の引継式を行いました。残念ながら、コロナ対応のため、保護者等の参観はできませんでしたが、今まで中心となって活動してきた6年生から、4・5年生へしっかりバトンが引き継がれました。今年度は、コロナ禍ながらも、様々な場所で演奏する機会があり、「気仙小学校ここにあり！」と示すことができました。6年生の皆さん、本当にありがとう。そしてお疲れ様でした。指導してくださった菅野剛さんが『この太鼓は「前へ！」という気持ちが込められている。』というお話をしてくださいました。これからもさらに前に進んでいく気小でいきましょう！



新型コロナウイルス オミクロン株に負けない



新型コロナウイルスの第6波が猛威を振るっています。1月上旬には、なにより収まるような気配があったのですが、1月下旬以降、岩手県内でも拡大し、最近では新規感染者が100人台を超えることも珍しくなくなりました。気仙地区でも、近隣市においてクラスターなどの感染者が多くで出ているところです。特に、「オミクロン株」といわれる変異株の存在が感染拡大の大きな要因になっているようです。

○オミクロン株流行の特色として

- ・感染力が強い・・・以前の1.5倍～3倍といわれています。
- ・重症化率が低い・・・しかし、重症化している方やお亡くなりになる方がないわけではありません。
- ・家庭内感染や高校生以下の年代の感染者が多い・・・以前は高齢者が中心でしたが、小中学生や幼児の感染者が多く、内陸部では休校が相次いでいます。

○気仙小学校では

- ・市教育委員会と連絡を取り合い、授業参観の中止、太鼓引継式の保護者参観中止、PTA役員会の書面開催、等の措置をとりました。他の授業や行事でも感染対策を徹底しています。
- ・集会時等の児童同士の間隔を開けること、マスクを正しく着用すること、手指消毒をすること、除菌作業等以前からの対応を引き続き徹底して行っています。

しかし、これだけ注意しても、感染を100%予防することは不可能です。そこで、

○各家庭にお願い

- ・風邪の症状（主に呼吸器系）が出た際には、学校を休んで病院に行くこと。
- ・家族の誰かが濃厚接触者やPCR検査対象者となった場合は、速やかに学校に連絡すること。
- ・感染者に対する誹謗中傷は絶対に行わないこと。一番大変なのは本人とその家族です。